

令和 6 年度 静岡市津波避難訓練の実施

◆アピールポイント	○南海トラフ地震を想定し、市内沿岸地域の自主防災組織が主体となり、津波避難訓練を実施します。 ○今年度は、新たにエスパルスドリームプラザと連携し外国人観光客を想定した避難誘導訓練や関係機関(海上保安庁、静岡県)と連携した水難救助訓練も実施します。
◆内容など	〈津波避難訓練の概要〉 日時：令和 7 年 3 月 2 日(日) 10 時～12 時(各地域により異なります) 訓練対象地区：市内沿岸 21 地区 (駿河区) 中島、大里東、宮竹、大谷、久能、長田南、川原 (清水区) 辻、江尻、入江、浜田、岡、清水、不二見、駒越、折戸、三保、袖師、興津、蒲原、由比 (1) 地域住民主体の訓練 内容：津波避難施設・避難経路の確認、避難計画の作成・確認 避難時間(自宅～津波避難施設までの時間)の確認 など 場所：市内各所(詳しくは、市 HP をご覧ください。) https://www.city.shizuoka.lg.jp/s4268/s000303.html 参加予定人数：約 9,000 人 (2) 行政主体の訓練 ※訓練内容、時間等は別添をご覧ください。 ①外国人観光客を想定した避難誘導訓練 (取材に関するお知らせ) ・施設開館時間(10 時)前のため、防災センター(SEA-side 棟 1 階南側シャトルバス発着所前)にお越しください。 ・駐車場は、施設駐車場(有料)をご使用ください。 ②水難救助訓練 ○津波避難タワーからの吊り上げ救助訓練(2 機関合同) ※中止 この訓練は、大浜公園再整備事業の工事への影響を踏まえ、飛散防止の措置を行った上で実施予定でしたが、工事の進捗から砂塵の飛散防止が困難なことが確認されたことから、ヘリの吹き下ろし風の影響を考慮し急遽中止としました。 (取材に関するお知らせ) ・ヘリコプターの吹き下ろし風が発生するため、安全確保のため津波避難タワーの周囲 50m 程度は立入を制限させていただきます。 ・津波避難タワー周辺には駐車場はありません。 ○船上からの吊り上げ救助訓練(3 機関合同) (取材に関するお知らせ) ・訓練場所は、海岸から約 800～1000m 程度の沖合の予定ですが、天候により変更となる場合があります。 ・ヘリコプターでの取材を行う場合は、高度 2000 フィート以上でお願いします。 ○海上漂流者救助訓練(静岡市消防局) 〈訓練の中止〉 次のいずれかに該当する場合は、訓練を中止します。中止の場合は、3 月 2 日(日)の午前 7 時頃に同報無線、市ホームページ(URL:https://www.city.shizuoka.lg.jp/s4268/s000303.html)、静岡市防災メール、市公式 LINE でお知らせします。 ・南海トラフ地震臨時情報が発表された場合 ・市内で震度 4 以上の地震を観測した場合 ・津波注意報や警報、大雨警報等の気象警報が発表された場合 ・災害等の発生により訓練を中止する必要があると判断した場合 (2)①外国人観光客を想定した避難誘導訓練を取材いただける場合は、事前に施設への連絡が必要なため、2 月 28 日(金)17 時までにご連絡ください。
◆その他	

別添資料 有

【問合せ】危機管理課(静岡庁舎 3 階)

担当 竹下、保坂

電話 054-221-1241

(危機管理局危機管理課)

SEA-side 3階

令和6年度 静岡市津波避難訓練実施計画の概要

(危機管理局危機管理課)

(2) 水難救助訓練 **新規** ※天候により内容が変更となる場合があります

津波により流された海上漂流者や船舶等の海上孤立者の救助を想定した、関係機関の連携による水難救助訓練を実施。

①津波避難タワーからの吊り上げ救助訓練

実施場所：市津波避難タワー大浜（駿河区西島 1380）

実施時間：午前10時30分～午前11時00分

参加機関：静岡県消防防災航空隊、静岡市消防航空隊

訓練内容：津波により孤立した津波避難タワーからのヘリによる救助訓練
ヘリ2機（静岡県オレンジアロー、静岡市カワセミ）

中止

②船上からの吊り上げ救助訓練

実施場所：用宗海岸沖合（駿河区用宗）、巡視船おきつ

実施時間：午前10時45分～午前11時30分

参加機関：海上保安庁（羽田特殊救難隊）、清水海上保安部、静岡県消防防災航空隊、静岡市消防航空隊、駿河指揮隊

訓練内容：海上保安庁巡視船が救助した漂流者（傷病者）のヘリでの吊り上げ救助訓練
巡視船1隻、ヘリ3機（海上保安庁、静岡県オレンジアロー、静岡市カワセミ）

③海上漂流者救助訓練

実施場所：用宗フィッシャリーナ（駿河区広野）

実施時間：午前10時00分～午前12時00分

参加機関：静岡消防局（駿河消防署）

訓練内容：津波により流されて転覆した漁船の乗組員を想定した水難救助訓練
海上漂流者2名（消防隊員）、水中搜索1名（人形）

【訓練実施箇所】

